

科目名	社会科学基礎講義(政治)						
科目名(英)							
単位数	6	時間数	44/90	担当者	村田 祐貴子		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	経済について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、オリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	市場機構				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	2	無差別曲線				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	3	企業と寡占市場				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	4	国民所得				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	5	経済循環とインフレ・デフレ				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	6	金融制度と金融政策				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	7	財政				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	8	ケインズの消費関数とIS-LM分析				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	9	世界経済の発展				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	10	戦後の日本経済				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	11	国際経済のしくみ				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	12	南北問題と経済協力				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	13						
	14						
15							
評価方法	毎週実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象10月～3月) 【社会科学基礎講義】成績評価の内訳:政治50%、経済50%						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	講義確認テスト	○	○				50%
	模擬試験	○	○				50%
履修上の注意							

科目名	社会科学基礎講義(政治)								
科目名(英)									
単位数	6	時間数	46/90	担当者	村田 祐貴子				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	政治について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="checkbox"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	ガイダンス							
	2	政治とは				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	3	日本国憲法① 大日本帝国憲法と日本国憲法				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	4	日本国憲法② 基本的人権各論				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	5	日本国憲法③ 統治機構				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	6	地方自治				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	7	選挙制度				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	8	行政の拡大と民主化				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	9	三権分立				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	10	戦後の日本				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	11	国際社会と国際法				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	12	国際連合と国際協力				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	13	国際問題				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	14					確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
15									
評価方法	毎週実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象10月～3月) 【社会科学基礎講義】成績評価の内訳:政治50%、経済50%								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
履修上の注意									

科目名	人文科学基礎講義(世界史)								
科目名(英)									
単位数	8	時間数	49/120	担当者	小川 文夫				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	世界史について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	古代文明				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	2	中世① ヨーロッパ、キリスト教、十字軍				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	3	中世② ルネサンス、大航海時代、宗教改革				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	4	近世				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	5	近代① 産業革命				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	6	近代② 国民国家の形成				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	7	近代③ 帝国主義				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	8	近現代				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	9	中国史				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	10	現代				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	11	現代・アジア史				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	12	イスラム史				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	13	各国地史				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	14								
15									
評価方法	毎週実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象3月～10月) 「人文科学基礎講義」成績評価の内訳: 日本史33%、世界史33%、地理33%(端数は省く)								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
履修上の注意									

科目名	人文科学基礎講義(地理)								
科目名(英)									
単位数	8	時間数	29/120	担当者	小川 文夫				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	地理について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	地形				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	2	気候				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	3	農業				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	4	林業・水産業				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	5	資源				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	6	工業				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	7	集落・都市				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	8	人種・民族・宗教				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	9	国家・国家群				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	10	図法				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	毎週実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象3月～10月) 「人文科学基礎講義」成績評価の内訳: 日本史33%、世界史33%、地理33%(端数は省く)								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
履修上の注意									

科目名	人文科学基礎講義(日本史)								
科目名(英)									
単位数	8	時間数	42/120	担当者	小川 文夫				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	日本史について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、授業内で配布されるオリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	原始時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	2	大和時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	3	奈良時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	4	平安時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	5	鎌倉時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	6	室町時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	7	安土桃山時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	8	江戸時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	9	明治時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	10	大正時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	11	昭和時代				確認テストに向けて、よく復習をしておくこと。			
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	毎週実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象3月～10月) 「人文科学基礎講義」成績評価の内訳: 日本史33%、世界史33%、地理33%(端数は省く)								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
履修上の注意									

科目名	自然科学基礎講義(化学)								
科目名(英)									
単位数	3	時間数	11/45	担当者	上村 一則、大村 彩				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	化学について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	物質の構造				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	2	化学反応式				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	3	酸と塩基				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	4	酸化・還元				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	5	周期表				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	6	気体				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	7	気体の性質・溶解度				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	8	金属の性質				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	適宜実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象3月～10月) 「自然科学基礎講義」成績評価の内訳: 生物25%、化学25%、地学25%、物理25%								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
履修上の注意									

科目名	自然科学基礎講義(生物)								
科目名(英)									
単位数	3	時間数	16/45	担当者	上村 一則、大村 彩				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	生物について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	ガイダンス							
	2	細胞・浸透圧				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	3	細胞分裂・組織				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	4	生殖・発生				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	5	遺伝1 メンデルの法則				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	6	遺伝2 複対立遺伝子など				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	7	酵素・窒素同化				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	8	炭酸同化(光合成)				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	9	呼吸・発酵				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	10	消化・代謝				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	11	恒常性				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	12	感覚器と神経系				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	13	植物の反応・動物の行動				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	14	環境・進化・分類				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
15									
評価方法	適宜実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象3月～10月) 「自然科学基礎講義」成績評価の内訳:生物25%、化学25%、地学25%、物理25%								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
履修上の注意									

科目名	自然科学基礎講義(地学)								
科目名(英)									
単位数	3	時間数	11/45	担当者	上村 一則、大村 彩				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	地学について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	大気の層構造				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	2	気象(1) 前線				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	3	気象(2) 日本の気象				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	4	地震				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	5	地球の内部構造				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	6	岩石の種類				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	7	地層と地質年代				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	8	恒星				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	9	太陽系				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	10	地球の自転・公転				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	11	太陽と月				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	適宜実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象3月～10月) 「自然科学基礎講義」成績評価の内訳: 生物25%、化学25%、地学25%、物理25%								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
履修上の注意									

科目名	自然科学基礎講義(物理)								
科目名(英)									
単位数	3	時間数	7/45	担当者	上村 一則、大村 彩				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	物理について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	速度と距離				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	2	力のつりあい				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	3	オームの法則・電力・熱				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	4	波の性質				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	5	仕事とエネルギー				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	6	原子と原子核				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	適宜実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象3月～10月) 「自然科学基礎講義」成績評価の内訳:生物25%、化学25%、地学25%、物理25%								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
履修上の注意									

科目名	数的処理基礎講義(数的推理)								
科目名(英)									
単位数	6	時間数	47/90	担当者	堀内 尊功、上村 一則、 大村 彩、花水 倫尚				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	数的推理について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、オリジナルレジュメを使用して学習する。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:	<input type="checkbox"/>	実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="checkbox"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	濃度				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	2	仕事算				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	3	ニュートン算				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	4	旅人算				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	5	通過算				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	6	流水算				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	7	その他の速さ				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	8	売買損益				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	9	平均				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	10	約数・倍数				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	11	整数				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	12	比と割合				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	13	場合の数				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	14	確率				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	15	魔方陣				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	16	記数法				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	17	数列・規則				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	18	一次方程式				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	19	連立方程式				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	20	不定方程式				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	21	三角形と多角形				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	22	円				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	23	面積(三角形)				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	24	面積(円・扇形)				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	25	面積(その他)				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	26	立体(体積・表面積・展開図)				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	27	立体(切断・回転体・その他)				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
評価方法	毎週実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象3月～10月) 「数的処理基礎講義」成績評価の内訳: 数的推理形50%、判断推理50%								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				50%		
履修上の注意									

科目名	数的処理基礎講義(判断推理)						
科目名(英)							
単位数	6	時間数	43/90	担当者	堀内 尊功、上村 一則、 大村 彩、花水 倫尚		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	判断推理について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、オリジナルテキストと授業内で配布されるオリジナルレジュメを使用して学習する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	絶対合格シリーズ【判断推理】、オリジナルレジュメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	数的処理について					
	2	対応関係				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	3	順序関係				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	4	うそつき				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	5	論理				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	6	集合・人数				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	7	試合・勝敗				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	8	位置・方位				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	9	手順				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	10	数量推理				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	11	暗号				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	12	道順・位相				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	13	平面図形				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	14	折り紙				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	15	展開図				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	16	軌跡				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	17	空間図形の分割				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
	18	空間図形の投影				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。	
19	多面体・切断・回転				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。		
評価方法	毎週実施する講義確認テスト及び模擬試験の結果より評価する。(評価対象3月～10月) 「数的処理基礎講義」成績評価の内訳: 数的推理形50%、判断推理50%						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	講義確認テスト	○	○				50%
	模擬試験	○	○				50%
履修上の注意							

科目名	法律系基礎講義(刑法・労働法)						
科目名(英)							
単位数	10	時間数	30/150	担当者	岡田広一郎・高取仙貴		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	公務員試験で必要な刑法・労働法についての基本的知識を習得し、条文・理論・判例の正確な理解を目指す。 また、毎回小テストを行うことで、基本レベルの理解の徹底を図る。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					刑法・労働法の基本的事項を習得する。刑法については理論を、労働法については条文を理解する。	
	○					本試験における標準的問題について、正解に達することができることを目標とする。	
テキスト・教材 参考図書	・『刑法 オリジナルレジュメ』 ・『公務員Vテキスト 地方上級・国家一般職・国税専門官 労働法』(TAC出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	刑法 総論① 刑法の基本理論・構成要件該当性(因果関係など)				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	2	刑法 総論② 構成要件該当性(故意)・違法性(違法性の実質・正当防衛①)				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	3	刑法 総論③ 違法性(正当防衛②・緊急避難)				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	4	刑法 総論④ 責任(責任能力)・未遂犯				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	5	刑法 総論⑤ 共犯論				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	6	刑法 各論① 国家的法益・社会的法益に対する罪(放火罪・偽造罪)				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	7	刑法 各論② 個人的法益に対する罪(生命・身体・自由・名誉に対する罪)				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	8	刑法 各論③ 個人的法益に対する罪(財産犯)				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	9	労働法 個別的労働関係① 労働法の意義・労働基準法の一般原則・労働契約				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	10	労働法 個別的労働関係② 就業規則・賃金				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	11	労働法 個別的労働関係③ 労働時間、休日・休憩、年次有給休暇、労働関係の展開				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	12	労働法 個別的労働関係④ 労働契約の終了、年少者・女性・非典型雇用				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	13	労働法 団体的労働関係① 労働組合、団体交渉				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
	14	労働法 団体的労働関係② 労働協約、争議行為				授業該当範囲の問題を解いておくこと	
15	労働法 団体的労働関係③ 不当労働行為、労働委員会				授業該当範囲の問題を解いておくこと		
評価方法	授業の中で小テストを毎週実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				
履修上の注意	刑法の教材は「オリジナルレジュメ」を用いる。毎回持参すること。						

科目名	法律系基礎講義(憲法)								
科目名(英)									
単位数	10	時間数	30/150	担当者	岡田 広一郎				
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	公務員試験で必要となる憲法についての基本的知識を習得し、条文・判例の正確な理解を目指す。また、毎回小テストを行うことで、基本レベルの理解の徹底を図る。								
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	○	○				憲法の基本的事項を習得する。人権については判例、統治については条文の理解を目指す。			
	○	○				本試験における標準的問題について、正解に達することができることを目標とする。			
テキスト・教材 参考図書	・『公務員Vテキスト 地方上級・国家一般職・国税専門官 憲法』(TAC出版) ・『新スーパー過去問ゼミ5 憲法』(実務教育出版)								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	憲法総論(憲法の基本原理、憲法の分類)				授業該当範囲のテキストを精読しておくこと			
	2	人権保障①(基本的人権の原理、基本的人権の限界)				授業該当範囲のテキストを精読しておくこと			
	3	人権保障②(幸福追求権、法の下での平等)				授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと			
	4	人権保障③(思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由)				授業該当範囲の問題を解いておくこと			
	5	人権保障④(表現の自由)				授業該当範囲の問題を解いておくこと			
	6	人権保障⑤(職業選択の自由)				授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと			
	7	人権保障⑥(財産権)				授業該当範囲の問題を解いておくこと			
	8	人権保障⑦(社会権)				授業該当範囲の問題を解いておくこと			
	9	人権保障⑧(社会権、受益権その他の人権)				授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと			
	10	統治機構①(統治総論、国会の地位・組織・活動)				授業該当範囲の問題を解いておくこと			
	11	統治機構②(国会と議院の権能)				授業該当範囲の問題を解いておくこと			
	12	統治機構③(内閣)				授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと			
	13	統治機構④(司法権)				授業該当範囲の問題を解いておくこと			
	14	統治機構⑤(裁判所の構成と権限)				授業該当範囲の問題を解いておくこと			
	15	統治機構(地方自治・憲法保障)				授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと			
評価方法	(1)授業の中で小テストを毎週実施する。(2)月例テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	小テスト	◎	○				30%		
	月例テスト	○	◎				70%		
履修上の注意	月例テストは、通常の授業とは別の授業コマ内で行う。								

科目名	法律系基礎講義(行政法)							
科目名(英)								
単位数	10	時間数	40/150	担当者	高取 仙貴			
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年							
授業概要	公務員試験で必要となる行政法についての基本的知識を習得し、条文・判例の正確な理解を目指す。また、毎回小テストを行うことで、基本事項の理解の徹底を図る。							
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				行政法の基本的事項を習得する。総論及び作用法については理論、救済法については判例、組織についてはシステムの理解を目指す。		
	○	○				本試験における標準的問題について、正解に達することができることを目標とする。		
テキスト・教材 参考図書	・『公務員Vテキスト 地方上級・国家一般職・国税専門官 行政法』(TAC出版) ・『新スーパー過去問ゼミ5 行政法』(実務教育出版)							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	総論(行政法の基本原理)				授業該当範囲のテキストを精読しておくこと		
	2	行政組織法(行政組織の基礎概念、国家の行政組織、地方の行政組織)				授業該当範囲のテキストを精読しておくこと		
	3	行政作用法①(行政行為の意義・諸効力、内容による分類)				授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと		
	4	行政作用法②(裁量の有無による分類、瑕疵の有無による分類)				授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	5	行政作用法③(附款、行政行為の取消しと撤回)				授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	6	行政作用法④(行政手続法)				授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと		
	7	行政作用法⑤(行政法上の強制手段)				授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	8	行政作用法⑥(行政のその他の活動形式)				授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	9	行政救済法①(国家補償、国家賠償法1条)				授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと		
	10	行政救済法②(国家賠償法2条、損失補償)				授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	11	行政救済法③(行政上の不服申立て)				授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	12	行政救済法④(行政事件訴訟法の全体像、取消訴訟の訴訟要件①)				授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと		
	13	行政救済法⑤(取消訴訟の訴訟要件②)				授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	14	行政救済法⑥(取消訴訟の審理手続、判決の効力)				授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	15	行政救済法⑦(主観訴訟、客観訴訟)				授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと		
評価方法	(1)授業の中で小テストを毎週実施する。(2)月例テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	小テスト	◎	○				30%	
	月例テスト	○	◎				70%	
履修上の注意	月例テストは、通常授業とは別の授業コマ内で行う。							

科目名	法律系基礎講義(民法)						
科目名(英)							
単位数	10	時間数	50/150	担当者	三角徳之		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年						
授業概要	公務員試験で必要となる民法についての基本的知識を習得し、条文・判例の正確な理解を目指す。 また、毎回小テストを行うことで、基本事項の理解の徹底を図る。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:	○	
					その他:	△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○	○			民法の基本的事項を習得する。条文及び判例の理解を目指す。		
	○	○			本試験における標準的問題について、正解に達することができることを目標とする。		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 『公務員試験 過去問攻略Vテキスト 民法(上)』(TAC出版) 『公務員試験 過去問攻略Vテキスト 民法(下)』(TAC出版) 『新スーパー過去問ゼミ5 民法I』(実務教育出版) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	総則①:民法の全体構造、権利の主体I(自然人)			授業該当範囲のテキストを精読しておくこと		
	2	総則②:権利の主体II(法人)、意思表示I(意思表示総説、心裡留保)			授業該当範囲のテキストを精読しておくこと		
	3	総則③:意思表示II(通謀虚偽表示、錯誤)			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	4	総則④:意思表示III(詐欺・強迫)、無効・取消			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	5	総則⑤:条件・期限、代理I(代理総説、代理の要件)			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	6	総則⑥:代理II(無権代理、表見代理)			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	7	総則⑦:時効I(時効総説、取得時効、消滅時効)			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	8	総則⑧:時効II(援用権者、完成猶予・更新)			授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと		
	9	物権①:物権法定主義、物権的請求権、所有権、共有			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	10	物権②:占有権、用益物権、物権変動I(物権変動総説)			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	11	物権③:物権変動II(不動産物権変動、動産物権変動)			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	12	物権④:即時取得、担保物権I(担保物権総論、質権、留置権)			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	13	物権⑤:担保物権II(抵当権、法定地上権、根抵当権)			授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと		
	14	債権①:債務不履行			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	15	債権②:責任財産の保全			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	16	債権③:債権の消滅			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	17	債権④:多数当事者間の債権債務関係			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	18	債権⑤:契約総論(契約の成立、同時履行の抗弁権、危険負担、解除)			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	19	債権⑥:契約各論I(売買契約、賃貸借契約)			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	20	債権⑦:契約各論II(その他の典型契約)、事務管理			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	21	債権⑧:不当利得、不法行為			授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと		
	22	親族・相続①:婚姻			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
	23	親族・相続②:親子			授業該当範囲の問題を解いておくこと		
24	親族・相続③:相続			授業内容に係る月例テストを行うので、復習しておくこと			
評価方法	(1)授業の中で小テストを毎週実施する。(2)月例テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				30%
	月例テスト	○	◎				70%
履修上の注意	月例テストは、通常の授業とは別の授業コマ内で行う。						

科目名	経済系基礎講義								
科目名(英)	principles of economics								
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	堀内 尊功				
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	経済学の基礎教科である、ミクロ経済学とマクロ経済学の概論を取り扱う。ミクロ経済学では、効率的な資源配分達成と価格メカニズムを中心に、マクロ経済学では、国国民所得の概念とその決定方法を、また貨幣市場の果たす役割を中心に学習する。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>					基本的な経済学用語について学び、その概要について説明ができる。			
		<input type="radio"/>				基本的な経済理論について学び、グラフ化して表現できる。			
		<input type="radio"/>				基本的な経済数学について学び、計算問題を解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナル教材(ミクロ経済学・マクロ経済学)								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	経済原論導入、ミクロ経済学1 生産者理論				授業の復習と問題演習			
	2	ミクロ経済学2 消費者理論①				授業の復習と問題演習			
	3	ミクロ経済学3 消費者理論②				授業の復習と問題演習			
	4	ミクロ経済学4 市場の理論				授業の復習と問題演習			
	5	ミクロ経済学5 不完全競争市場①				授業の復習と問題演習			
	6	ミクロ経済学6 不完全競争市場②				授業の復習と問題演習			
	7	ミクロ経済学7 市場の失敗				授業の復習と問題演習			
	8	ミクロ経済学8 国際ミクロ経済学				授業の復習と問題演習			
	9	マクロ経済学1 国民所得の概念				授業の復習と問題演習			
	10	マクロ経済学2 財市場の分析				授業の復習と問題演習			
	11	マクロ経済学3 貨幣市場の分析				授業の復習と問題演習			
	12	マクロ経済学4 労働市場分析				授業の復習と問題演習			
	13	マクロ経済学5 消費理論、投資理論、貨幣理論				授業の復習と問題演習			
	14	マクロ経済学6 経済成長理論				授業の復習と問題演習			
15	マクロ経済学7 国際マクロ経済学				授業の復習と問題演習				
評価方法	(1)授業の中で小テストを14回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				20%		
	小テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				80%		
	宿題・レポート								
	発表・作品								
履修上の注意									

科目名	行政系基礎講義(行政学)								
科目名(英)									
単位数	3	時間数	11/45	担当者	村田 祐貴子				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	行政学について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、オリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	行政学の展開				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	2	現代日本の行政制度				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	3	行政組織の運営				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	毎週実施する講義確認テスト及び全国模擬試験の結果より評価する。(評価対象10月～3月) 「行政系基礎講義」成績評価の内訳:政治学50%、行政学50%								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			50			
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			50			
履修上の注意									

科目名	行政系基礎講義(政治学)								
科目名(英)									
単位数	3	時間数	34/45	担当者	村田 祐貴子				
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	公務員中上級専攻科1年								
授業概要	政治学について、公務員採用試験で出題されやすい単元を、オリジナルレジュメを使用して学習する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				各単元の基本的知識を身に付け、公務員採用試験問題を実践的な解法で解答できる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルレジュメ								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	政治学の基礎事項				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	2	政治の制度				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	3	政治の動態				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	4	政治の意識と行動				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	5	政治思想				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	6	国家の理論				確認テストに向けて、よく復習しておくこと。			
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	毎週実施する講義確認テスト及び全国模擬試験の結果より評価する。(評価対象10月～3月) 「行政系基礎講義」成績評価の内訳:政治学50%、行政学50%								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	講義確認テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			50			
	模擬試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			50			
履修上の注意									